

平成28年度

事業報告書

自 28 年 4 月 1 日

至 29 年 3 月 31 日

公益財団法人南丹市情報センター

平成28年度 事業報告

平成28年度は、地域情報通信ネットワーク施設の新たな3年間の指定管理期間の1年目を終え、国際交流会館は3年間の指定管理期間の最終年を終えることが出来ました。

前年度には園部地域でF T T H化事業が完了し、南丹市全域で光ファイバー方式のサービス提供に移行したことにより、28年4月より南丹市全域で同一利用料金に改定しました。これにより、収入調定額は、CATV利用料で40,226千円、インターネット利用料で7,017千円の増となりました。

加入管理業務では、減少傾向にあるインターネットへの加入促進策として、前年度に引き続き、「南丹市インターネット新規加入拡大事業」を実施しました。

施設管理業務では、放送通信設備の強靱化対策として、伝送路二重化及び新受信点設置に向けた準備作業を進め、また、BS/C Sパススルーサービスの全市での同一サービスを提供するため、八木・日吉・美山地域での新型V-ONUへの全戸交換に向け、計画策定に取り組みました。

自主放送番組制作業務では、第40回全国育樹祭式典行事、京都丹波高原国定公園の魅力を紹介する番組をはじめ、京都府が進める「森の京都」構想関連の番組制作に取り組みました。

国際交流会館管理運営業務では、園部公民館のホール利用停止に伴い、当会館のイベントホール、コスモホールの利用が増えたため、前年度実績を上回る利用状況となりました。

また、全国育樹祭の式典行事に御臨席された皇太子殿下の御昼食会が当会館3階で開催されました。

地域活性化支援事業では、南丹市内のスポーツ活動を支援し盛り上げるため、法人主催少年サッカー大会の開催や、スポーツ大会の生中継放送、南丹市内を会場に開催される全国大会の取材及び放送に取り組みました。

1. 加入管理業務

(1) 加入管理

【CATV基本サービス（平成29年3月末）】

| | |
|-----------|-------------------|
| ◇加入者数 | 14,077戸 |
| (平成28年3月末 | 14,013戸／増減数 64戸増) |
| ◇課金対象者数 | 11,331戸 |
| (平成28年3月末 | 11,314戸／増減数 17戸増) |

【インターネットサービス（平成29年3月末）】

| | |
|-----------|------------------|
| ◇加入者数 | 5,212戸 |
| (平成28年3月末 | 5,161戸／増減数 51戸増) |
| ◇課金対象者数 | 3,252戸 |
| (平成28年3月末 | 3,270戸／増減数 18戸減) |

【BSプラン（平成29年3月末）】

| | |
|-----------|----------------|
| ◇課金対象者数 | 320戸 |
| (平成28年3月末 | 335戸／増減数 15戸減) |
| ◇STB設置台数 | 365台 |
| (平成28年3月末 | 381台／増減数 16台減) |

CATV課金対象者数については、園部町で27戸、八木町で14戸の増加となり、日吉町、美山町ではともに12戸の減少となりました。全体では17戸の増となりました。日吉町で他社への乗り換えを理由とする解約、休止が増えてきています。

インターネット課金対象者数では、園部町で24戸、八木町で14戸の減少となり、日吉

町で5戸、美山町で15戸の増加となりました。28年度前半は利用の減少が見られましたが、後半は「南丹市インターネット新規加入拡大事業」を実施した効果もあり利用は増加しました。年間でみると18戸の減少となりました。

BSプランについては、園部地域でBS/CSパススルーサービスを開始したことにより、課金対象者数が15戸減少しました。

BS/CSパススルーサービスは、現在、園部地域のみで利用可能であり、3,407戸が利用しています。(園部地域での利用率：63.58%)

(2) CATV加入促進

有線テレビの加入促進については、加入率の低い八木地区での認知度の向上策として、より多くの方が「なんたんテレビ」の情報に接してもらえるよう、公立南丹病院の休憩スペースにテレビを設置し、「なんたんテレビ」の放映を開始しました。

(3) インターネット加入促進

南丹市の業務委託を受け「南丹市インターネット新規加入拡大事業」を実施しました。この事業では、10月～12月の受付期間にインターネットの新規加入をされた一般加入者に対し、加入分担金及び工事費の初期費用相当分を南丹市商工会又はJCBの商品券で支給しました。広報は、チラシの全戸配布や有線テレビのみの加入者にダイレクトメールを送付し、また地域イベントに参加しPR活動を行いました。当事業での加入件数は52件あり、事業受付期間のインターネット利用件数が25件増加していることから、利用促進並びに休止、解約の抑制に一定の成果がありました。

(4) 利用料金の滞納徴収

徴収計画に基づき、年2回、6月と11月に催告通知(過年度滞納分の請求)を行い、連絡

が取れない方や悪質な滞納者には、停止予告及び停止決定通知書を送付して対応しました。

| | | | |
|-------------|-----------|-------|----------------|
| ◇CATV利用料 | 現年度収納率 | 98.5% | (205,404,710円) |
| | 過年度滞納分収納率 | 46.5% | (2,523,180円) |
| ◇インターネット利用料 | 現年度収納率 | 99.7% | (121,728,420円) |
| | 過年度滞納分収納率 | 86.0% | (327,625円) |

(5) 利用料金改定

園部地域での光ファイバーによるサービス提供開始に伴い、28年4月より南丹市全域で同一利用料金に改定しました。

| | | |
|--------|------------|----------------------------|
| 利用料月額 | CATV | 1,020円(HFC) → 1,540円(FTTH) |
| | インターネット | 2,570円(HFC) → 3,080円(FTTH) |
| 調定額の増加 | CATV利用料 | 40,226,250円 |
| | インターネット利用料 | 7,017,040円 |

2. 施設管理業務

(1) テレビ・ラジオ再放送

万全を期した放送受送信設備の保守管理を行い、安定したテレビ・ラジオの再放送を提供しました。

自主放送 1波

なんたんテレビ

地上テレビ放送 8波

NHK総合(京都放送局)・NHK教育・毎日放送・KBS京都・朝日放送・

テレビ大阪・関西テレビ・読売テレビ

BS放送（トランスモジュレーション方式） 9波

NHK BS1・NHK BSプレミアム・BS日テレ・BS朝日・BS-TBS・

BSジャパン・BSフジ・BSイレブン・Twe11V

BS/CS放送（同一周波数パススルー方式・園部FTTHエリア）

BS放送 31波 CS放送 54波

FMラジオ放送 4波

FM802・NHKFM・FM大阪・αステーション

（2） データ放送サービス

なんたんテレビ（11ch）のデータ放送として、地域気象情報、台風等の災害時の緊急情報、地域情報、生活情報、イベント情報、学校からのお知らせ、なんたんテレビ文字ニュース、京都新聞文字ニュースを提供しました。

（3） Lアラート（災害情報共有システム）

災害時、緊急時の第一報をスムーズに、かつ正確に伝えるため、Lアラートを5月に導入しました。これにより市が発令する避難勧告、避難指示、避難準備情報、避難所情報、災害対策本部設置状況、被害情報や、気象庁発表の気象警報、土砂災害警戒情報、地震速報等の緊急情報を職員不在時でも自動的になんたんテレビ（11ch）の画面に表示し、速報できるようになりました。

（4） インターネットサービス

南丹市全域において高速で快適なインターネット環境を提供しました。

光ファイバー方式（FTTH） 通信速度100Mbps

(5) 施設管理

センター、サブセンター、伝送路等の保守管理体制を整備し、安定運用に向けた取り組みを行いました。各施設、設備、機器類の保守点検を行い、設備更新、機器交換等が必要な場合には市に対策を提案し、協議により更新作業を実施しました。

設備故障等により運用に支障が発生した場合には、市と連携を図りながら早期復旧に向けた対応を実施しました。

(6) 放送通信設備の強靱化に向けた技術協力

放送通信設備の強靱化対策として、センター、各サブセンター間の伝送路二重化及び新受信点設置に向けた準備作業を行いました。情報センターでは、供用開始後の管理・運営を考慮した設備となるよう提案を行い、市と一体となって計画策定に取り組みました。

(7) 中継車システムの整備

生中継番組の定期化を推進する、災害時等の速報性を高めるなど、少人数での効率的な運用を行うため、中継車の機能を十分に発揮するための未導入機材について調査を行い、市と協議を進めました。29年度にリースにて導入を予定しています。

(導入予定機器：テロップシステム・インカムシステム・光ドラムケーブル)

(8) 自主放送番組のアーカイブデータ化、アーカイブシステムの導入

自主放送番組の過去の映像は地域の貴重な資産であり、日々の番組制作でも過去の映像を番組編集に利用する機会が増えています。これまで行ってきた既存メディア(ビデオテープ)での保管では保存番組の劣化が見られることから、早期に他のメディアへのダビングが必要となってきました。

これらに対応するため、データ化及びシステム導入に向けた調査を行うとともに、保存番

組のデータベースの整理に取り掛かり、また先進団体でアーカイブ技術についての研修を受けました。

財源として日本財団の補助事業の活用を目指し、データ化及びシステム導入の計画をまとめ申請を行いましたが、採択は得られませんでした。引き続き29年度に再申請を予定しています。

(9) 防災情報カメラ設備の整備

河川や道路等を映す防災情報カメラのライブ映像は、災害発生時における災害対策本部での活用と、CATVを通じたリアルタイムの情報提供による市民の安心安全確保に有効です。平時には生活情報や観光情報、交通情報の提供及び生中継番組等に活用できます。この防災情報カメラの設置に向けて市と協議を行い要望してきましたが、現時点では設置できていません。

補完策として、南丹市が各町に設置しホームページで公開している河川監視カメラの映像を自主放送で放映できるよう市に要望し、映像をスタジオにつなぐ回線工事を実施しました。

(10) BS/CS放送の再放送（BS/CSパススルーサービス）

園部地域では、27年12月からBS/CSパススルーサービスを開始しています。全市で同一サービスを提供するには、八木・日吉・美山地域で新型V-ONUへの全戸交換が必要になるため、機器更新を早期に実施できるよう提案を行い、市と一体となって計画策定に取り組みました。

(11) V-ONU遠隔制御

園部地域で導入した新型V-ONUは、利用料金の滞納対策にも有用な遠隔制御対応となっており、八木・日吉・美山地域についても、早期に機器更新を実施できるよう、上記のBS

／CSパススルーサービスと合わせて提案し、計画策定に取り組みました。

(12) CATV、インターネット利用者へのサービス向上

地域密着型サービスの利点を活かし、利用者の満足度向上をめざす取り組みとして、放送・通信への理解に乏しい方や操作が苦手な方への電話による親身なアドバイスや訪問サポートを実践しました。

アドバイスやサポートに対応するためには、最新の端末機器やサービスについての知識、技術を身につける必要があり、情報収集、調査、実践対応に取り組みました。

(13) 工事件数（平成28年4月～平成29年3月）

◇新規加入・解約・休止・復旧・移設等 工事数 754件（前年同期比 161件減）

◇支障移転等による幹線工事数 159件（前年同期比 31件増）

3. 自主放送番組制作業務

(1) 自主放送

ニュースや企画番組、学校番組等の制作において地域や学校、集落支援員、地域おこし協力隊、南丹市、京都府など各組織と連携して情報収集及び取材にあたり、人と人の絆を結ぶ、また地域の活性化につながる番組作りに取り組みました。

ニュース番組は週2回の放送が住民に定着してきました。ニュース内容を掘り下げ、丁寧な取材を行い、インタビューを盛り込むなど、番組を充実させています。

京都府が進める「森の京都」構想のエリアである南丹市での交流型イベントや第40回全国育樹祭式典行事、京都丹波高原国定公園の魅力を紹介する番組を制作しました。

小学校再編においては、美山地域の新小学校の開校における特別番組の制作、また園部・八木・日吉・美山の小学校の跡地利用（地域の取り組みなど）を取材し放送しました。

(2) 生中継放送

「スポーツで活躍する若者たちを紹介すること」や「生中継への新しい挑戦」を目標に掲げ、参加者や視聴者からも喜んでもらえる番組をめざして、市内で行われている行事を現場から中継車を使い臨場感をもって伝える生放送番組に取り組みました。

(3) 防災への取り組み、災害発生時の広報

9月20日の台風16号接近時には、南丹市災害対策本部会議へ出席し、水位状況や被害状況の把握、避難所開設の有無などを確認し、文字放送などで伝えました。

1月15日からの大雪被害発生時には、道路情報、通行止めなどを文字放送で伝え、ニュース番組では被害情報を映像と音声で伝えました。

(4) 広域的な取り組み

京都府広報課が運営する京都地域メディアネットワークに加盟し、委託事業として「京都丹波高原国定公園の魅力」を制作、放送しました。また、京都府南丹広域振興局からの委託事業として「とれたて新鮮！森の京都丹波っ！」を制作し、京都丹波地域の観光や取り組みなどについて南丹市及び京丹波町で放送しました。この番組制作では、佛教大学、南丹広域振興局と三者契約を結び、学生が企画、出演に参加しました。

隣接する京丹波町ケーブルテレビと情報交換や番組交換を行いました。CATV伝送路の冗長化では京丹波町内をルートとして計画しており、情報収集等で協力を受けました。

(5) 平成28年度の放送番組

【自主放送番組】

① もぎたて☆ニュース（ウエズデー・サタデー）（103本 前年度74本）

□南丹市内や近隣地域のニュース（出来事640本 前年度517本）

- 特集（国定公園・育樹祭の紹介／市民活動や生活に密着した話題や啓発／防災・交通安全啓発や特集／文化活動・スポーツ活動の紹介／教育活動／環境・産業など地域の取り組み）
- 生活情報（ゲストによる告知、市役所からのお知らせ等）
- じゅういちくん4歳児参観（保育所4歳児とじゅういちくんのふれあいコーナー・イラスト募集など）
- おたより（121件 昨年91本）
- 赤ちゃんお祝い情報
（年末年始に1年間のニュースをまとめた「もぎたて☆ニュース総集編」を放送）

② 企画番組

- 南丹市制施行10周年記念講演会
- 美山小学校開校記念番組「地域の絆 想いはひとつ 羽ばたけ美山小学校」
- 京都丹波高原国定公園の魅力～生命の息吹 人びとの暮らし～
- 第40回全国育樹祭～お手入れ行事・式典行事～
- 生酛の誇り 美山蔵杜氏 倉垣時弘
- 地域とともにある学校づくり～コミュニティスクール～

③ 生中継（33本 前年度28本）

- 南丹市議会定例会本会議（6・9・12・3月 / 22回）
- 参議院議員選挙南丹市開票速報（7月10日）文字・L字・データ放送で速報
- 第5回南丹市消防団操法大会（7月17日）
- 第2回京都丹波トライアスロン in 南丹大会 競技の部（8月27日）
- 第70回京都南丹市花火大会（8月14日）

- 南丹・船井中学校体育連盟新人戦バスケットボール大会男子決勝戦（9月18日）
- じゅういちくんカップ少年サッカー大会（12月4日・南丹市情報センター主催）
- 平成29年南丹市成人式（1月8日）
- 南丹市スポーツ・文化賞表彰式（2月18日）

④ まちかどぶらっとーク！（4本）

地域の人達、暮らし、宝、地域情報等をレポーターが現地を訪ね紹介。

- 日吉町佐々江 □美山町豊郷 □美山サイクルグリーンツアー □新年編

⑤ 特集番組（93本 前年度84本）

- 美山5小学校卒業式に合わせ、閉校式・地域記念行事

入学式に合わせ美山小学校開校式

- 文化祭、各種団体発表会、中・高校生の合唱、吹奏楽定期演奏会
- 各種団体記念行事（園部吹奏楽団40周年、河鹿合唱団70周年、マイサウンドプロデュース40周年）
- 子どもたちの発表（なんたん商工祭 園部小学校鼓笛パレード・鼓魂、子どもの主張大会、ふれあい音楽祭など）

⑥ 市民の情報広場（6本）

- 視聴者投稿ビデオにより、地域の伝統行事、レポートの様子等を放送。

⑦ スクールフェイス（135本）

- 入学式、卒業式、運動会のほか修学旅行や学習発表会など保・幼・小・中学校からの投稿ビデオを編集、放送。

⑧ 協働み一つけた！（南丹市企画 広報番組）

□南丹市と南丹市まちづくりデザインセンターが協働で企画制作を行う番組。

市内を中心とした協働によるまちづくりの事例を紹介。

⑨ 図書館だより（南丹市立図書館・図書室 広報番組）

□一般書・児童書の新刊案内、行事のご案内

⑩ とれたて新鮮！森の京都丹波っ！（京都府南丹広域振興局制作 広報番組 5本）

□南丹市を始め、亀岡市、京丹波町の魅力を紹介 2本制作

□佛教大学との連携により、学生の企画による番組 3本制作

⑪ 京都あかでみー（京都府広報番組 12回放送）

□KBS京都で毎月生放送している番組を再放送。

⑫ ふくしの森（社会福祉協議会、地域活動支援センター、福祉施設等の広報番組）

□各事業所の活動報告。南丹市障害者就労支援ネットワーク会議からのお知らせ。

⑬ JAトピックス（JA京都制作 農業関連情報番組）

□園部・八木・日吉支店から営農情報や活動報告などを放送。

⑭ かんたん！体にいいレシピ（南丹市企画 食育番組）

□南丹市食生活改善推進員協議会によるレシピ紹介。毎年、紹介する品目を追加して放送。

⑮ なんとんテレビ学舎（教育委員会企画 家庭学習支援番組）

□ 中学3年生対象の国語・数学・英語の3教科。

高校受験対策として、新たに国語3講座・英語4講座・数学5講座を制作し、再放送と併せて放送。

⑯ 思い出のアルバム（18本）（自主放送番組アーカイブを活用）

□ 小・中学校の卒業生へ、入学式の様子を放送。

□ 新成人を迎える人たちへ、中学校時代の入学式の様子を放送。恩師からのメッセージを収録・放送。

【文字放送・TV週報】

公共機関・学校・各種団体等からのお知らせを放送。京都府南丹広域振興局、警察署、消防署など広域の依頼にも対応しました。依頼数が年々増加しています。

文字放送：913件（前年度820件） TV週報：48件（前年度47件）

各種団体からのお知らせ（PR）：12件

【緊急情報】

28年9月20日台風16号対策として、水位状況や被害状況、避難所開設の有無などを文字放送等で伝えました。

29年1月15日からの大雪対策として、道路情報、通行止めなどを文字放送で伝えました。ニュース番組で被害情報を映像と音声で伝えました。

Lアラート速報（災害情報共有システム）は88回放送されました。

【CM放送】

ニュース番組内で3団体のCMを放送しました。

高屋組、京都生活協同組合、Z A Q

【公共広告放送】

ニュース番組内で4団体の公共広告を放送しました。

社会を明るくする運動、赤い羽根共同募金、踏切事故防止啓発CM（J R西日本福知山支社）、インターネット・スマートフォンの危険から身を守るための注意喚起CM（総務省 近畿総合通信局・学生制作）

【年賀広告放送】

なんたんテレビの文字放送枠を利用して南丹市内の団体・企業向けに年賀広告放送を実施し、20団体から応募を受けました。

（放映期間：元日～3日、前年度22団体）

【マスコットキャラクター】

南丹市情報センターのマスコットキャラクター「じゅういちくん」の市内イベントへの出演依頼が多数ありました。これらの行事を取材して広報協力を行いました。

11月を「じゅういちくん月間」として、イラストの募集や市民とふれあうコーナーを企画しました。

【その他】

- ・交通安全ソングPV制作協力（南丹警察署・南丹船井交通安全協会）
- ・市民後見人養成講座用ビデオ作成（南丹市高齢福祉課）

- ・参議院議員通常選挙 啓発用CD作成（南丹市選挙管理委員会）
- ・人権研修会ビデオ制作（京都府隣協中部地域連絡協議会）
- ・人権教育・啓発推進協議会記念講演会の模様を別会場へ放映（南丹市人権教育・啓発推進協議会）

4. 南丹市国際交流会館管理運營業務

（1） 国際交流会館の利用状況

【利用状況（平成29年3月末）】

◇利用回数 1,767回（前年度 1,793回／ 26回減）

◇利用人数 38,132人（前年度35,953人／2,179人増）

28年度の会館運営については、近隣の類似施設である園部公民館のホール利用停止に伴い、当会館のイベントホール、コスモホールの利用が増えたため、前年度実績を上回る利用料収入となりました。

府民の森ひよしで行われた全国育樹祭の式典行事に御臨席された皇太子殿下の御昼食会が当会館3階で開催されました。京都府及び南丹市、また警察庁それぞれの関係部署と連携を図り、滞りなく運営できるよう全面協力を行いました。

京都府や南丹市が関わる南丹工芸文化祭、京都丹波美術工芸教育展をはじめ、丹波史談会主催「丹波の文人遺墨展」など、行政機関や各種団体への開催協力を行いました。

京都府南丹保健所が実施する乳がん検診の受診による早期発見、治療の啓発（ピンクリボン活動）など、当館のライトアップによる4件の啓発活動に協力しました。

（2） 国際交流事業

南丹市国際交流協会と共催して「なんとにあん Kids カーニバル」を開催しました。また各

種団体が取り組む国際交流事業を取材し放送することで広報協力を行いました。

(3) 計画的な施設修繕

会館管理については、市地域振興課との調整により、要望していた高圧受電設備改修、正面玄関前堀沿い通路の陥没箇所の修繕、館内階段の照度向上のための照明交換を実施しました。

法定点検等において指摘される修繕対応に加え、空調調和機の修繕、3階「六花亭」の土間舗装、正面玄関の植栽整備等を実施しました。

皇太子殿下啓に伴う当会館の利用にあたり、市育樹祭推進室との調整により、館内及び会館周辺の設備修繕や整備を実施しました。

5. 地域活性化支援事業

(1) 地域のスポーツ・文化活動を支援・協力

東京五輪・パラリンピック2020に向けて、南丹市内のスポーツ活動を支援し、盛り上げる取り組みを行っています。

生中継番組では「スポーツで活躍する若者たちを紹介すること」をテーマの一つとして取り組み、京都丹波トライアスロン大会、南丹・船井中学校体育連盟新人戦バスケットボール大会男子決勝戦、じゅういちくんカップ少年サッカー大会、南丹市スポーツ・文化賞表彰式の模様を現地から生放送しました。

まちかどぶらっトーク!では、美山サイクルグリーンツアーの様子を取材し紹介しました。

もぎたて☆ニュースでは、野球、サッカー、バレーボール、ビーチバレー、水泳、パワーリフティング、駅伝、車いす駅伝、グラウンドゴルフ、インディアカなど、多くのアスリートやチームを紹介し、国際大会、全国大会、中学校総体での活躍や京都府スポーツ賞受賞、地元出身のプロ選手の動向など、未来のトップアスリートを市民と共に応援しました。

また、旧吉富小学校の有効活用と地域文化の発信を目的に開催された「吉富ノ庄まつり『吉富映画祭』」を後援し、広報協力を行いました。

(2) シニアパソコン講座

初心者を対象とした高齢者向けパソコン講座を開催しました。

- ・ エクセルを使用した家計簿づくり講座（6月） 7名受講
- ・ ワードで美しい文章作り講座（10、11月） 7名受講

(3) 教育機関との連携

小学校、中学校、高校、大学、幼稚園、保育所等との連携を深めて情報収集を行い、各校の特色ある取り組みを多数紹介しました。学校からの提供による番組枠を充実させ、より見やすくなるように編成しました。

児童・生徒の情報教育に関する施設見学や勤労体験学習等の受け入れを行いました。

- ・ 施設見学 小学校2校、佛教大学
- ・ 勤労体験 園部中学校2年2名、八木中学校2年2名、園部高校附属中学校2年1名
- ・ 京都学園大学インターンシップ生1名
- ・ 南丹・船井小学校教育研究会 社会科部員（教職員）19名